

年末手当 交渉 第2回

10月23日に「2024年度年末手当第2回交渉」が行われました。
第2回交渉では中央本部は以下の『**要求の根拠**』を会社に訴えました。

- 10月には2911品目の飲食料品が値上げされ、電気、ガス、郵便料金も値上げされ、青年部員の生活は厳しさを増すばかりである。
- 自然災害などの遅れや輪軸問題で減収となったが現在の輸送量は8割越えとなっている。
- 「選択されない企業」という現状を打破するためにも期末手当を厚くし、求人票に反映させて選択される企業を目指すべきである。

これらに対して会社の回答は・・・

物価高で生活苦となっていること、賃上げが追い付いていないことは認識する。しかし一方で会社のコストは上がっており、利益を出すことが厳しい状態にある。期末手当は業績給として考えている。「業績」「直近の動向」「社員の頑張り」を考慮し経営判断していく。

厳しい北海道の冬の寒さに負けず健康に暮らすためにも誠意ある回答を求め